

人口減少社会における横浜の課題などを

歯切れの良い語りでユーモアも交えながら講演頂きました！

「第300回記念朝食会」日本総研藻谷浩介氏をゲストに開催しました

冬の音連れと共に、朝夕肌寒さを感じる11月21日(火)8時15分より、横浜国際ホテルにて68名の出席で「第300回記念朝食会」が開催されました。



加藤会長より「本日はご多忙のところ、平沼中小企業振興部長、榎本市工連会長、松本横浜市議会議長をはじめ、多くの方々に御出席頂きまして心よりお礼申し上げます。当会は昭和58年11月に発足いたしましたが、翌年の6月に9名の出席で朝食会が発足致しました。

当時を辿りますと吉原会長が『現状維持は後退であり敗北である。新しい時代に対応していくためには、創造こそが経営者に求められる』との考えから、朝食会を開催したとされております。以降、今日まで歴代会長のもと、引き継がれまして現在は、当会の主要事業となっております。他の工業会にはない当会のコンセプトであります「ユニークな工業会」に相応しい事業と

なっており、朝食会が活動のベースとなり、相乗効果を生みまして、会員の事業への参加は80パーセント弱と多くの方々にご参加頂き、活発に事業を推進しております。

本日は、今日を築かれました歴代会長及び役員の方々のご尽力と会員の皆様方に、改めてお礼を申し上げ共に祝い合う朝食会と致したく宜しくお願い致します」との挨拶を受けました。引き続き、朝食会を企画いたしました吉原初代会長の出身企業、(株)岡村製作所中村雅行代表取締役社長より届いた祝電を披露し講演に入りました。

「人口成熟に向かう横浜と日本の活路」と題してお話し頂きました！

記念講演のゲストには、登壇および番組出演累計5,000回以上(うち2016年450回弱)、著作や連載、講演活動、テレビ出演など多忙を極めております(株)日本総合研究所首席研究員藻谷浩介氏(写真上)をお迎えして「人口成熟に向かう横浜と日本の活路」と題してお話し頂きました。

講演では、「300回朝食会おめでとうございます。今日は横浜の方は絶対ご存知になったほうが良いというお話しを致します。横浜で今何が起きているか殆んど知らないと思います。良いも悪いも日本には実際の数字を確認する習慣がないのです」と話され、国内の空き家の状況、空き家は殆んどの人が田舎が多いと思っておられますが、空き家が多いのは東京、大阪、神奈川、千葉、埼玉で圧倒的に大都市の問題となっていること。神奈川は4件に一軒が空き家になっていること。横浜市の実現は人口が36,000人も増えているのに65歳以下は93,000人も減っており、65歳以上が130,000人も増えており、現実には起きていることは人口は増えても①税収が落ちている。②家が空き家になる。③福祉の負担がきつくなる。④人手不足になり、人で不足は



今後 50 年続くことなど。また、中国で今起きていることは、65 歳以上が増加中で 5 年間で 16%増 75 歳以上も急増中で巨大な高齢化社会になることや島根県で一番有名な隠岐の海士町という所は 30 年前から色々な地域振興を行っていて、人口横ばい、子供横ばい、現役、年寄り横ばいの状況にあること。

今、横浜がやらなければならない施策等を参加者に問いかけながら、時々ユーモアも交えながら講演頂き、聴衆者を飽きさせない巧みな話し方はさすが、藻谷先生との感じがしました。

今回は、講演時間を 1 時間取りましたが、あっという間に過ぎ講演が終わったのは 20 分をオーバーしましたが、時間の経過を感じさせない内容で文字通り 300 回記念朝食会に相応しい講演となりました。

